



関中学校だより

第5号 令和7年9月16日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-tyo.ed.jp/>

公立中学校の責任

校長 堤 智一

記録的に短かった梅雨に加え、同じく記録的な猛暑に見舞われた今年の夏でしたが、大きな事故もなく9月1日の始業式を迎えることができたことは、とても嬉しく思っています。

2学期以降も開校50周年の節目を迎えた関中学校での教育活動を進めてまいります。引き続き御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

さて、私は開校50周年の節目を迎えるにあたり、過去の資料に目を通し関中学校の「過去」「現在」「未来」について思いを馳せています。

過去の資料には「関中学校は地域の要望によって開校した」という記録があります。中学生という時期は人生で3年間しかありません。親が自分の子供を3年間通わせるということだけを考えていたのでは、新しく学校を創ることなど叶いません。地域が開校を強く望み、その要望に賛同し土地を提供していただいた方々、記録には残らない部分で開校に尽力いただいた地域の方々や行政の方々のご尽力があったからこそ、開校が実現したのです。

また、開校にあたっては、校庭や校舎ができあがればそれでよし、いうわけにはいきません。校舎、校庭に集まる人こそが、何よりも重要になってきます。中学校の主体は生徒であることは間違いありませんが、教職員の努力、保護者・地域の皆様の御理解・御協力なしでは、目指す教育活動を行うこと、つまり地域に根ざす公立中学校としての社会的な責任を果たすことはできません。

現在、関中学校は「生徒にとって『学びの場』『成長する場』を保証する」というスローガンを掲げ、教育活動を行っています。その土台として学校は安心、安全でなくてはなりません。安心、安全を脅かすいじめや暴力、体罰は決してあってはなりません。情報機器が急速に発展した今日では、SNSトラブルやネットいじめ、晒し、グループ外しや裏アカウントといった、私たちが過去に経験したことのないトラブルへの予防や対応も求められてきます。今までの価値観や考え方をアップデートする必要があります。地域における学校の在り方について、教職員、保護者・地域の皆様の開校時の思いを再確認した次第です。

これからも「地域から学校を借りて教育に当たっている。学校は、生徒のためにある。」という大前提を忘れずに、社会に貢献できる人材を育てることが、関中学校が未来へと続くために果たすべき責任だと考えております。

イングリッシュキャンプ(1年生希望者 8/4~6)

夏季休業中に希望参加によるイングリッシュキャンプがベルデ武石で行われました。とても気温が高い中でしたが、英語漬けの3日間で、最終日は別れが惜しくなるほどでした。コミュニケーションをとろうとする積極的な姿勢が随所に見られ、たくましく成長しました。



みんなで食べる食事は格別です



2日目のダンス発表



3日目はまよめのプレゼン

職場体験(2年生 9/9~10)

進路学習の中心的な活動である職場体験が行われました。御協力いただいた事業所の皆様、ありがとうございました。



丁寧に作業をします



きれいに並べます



協力して手際よく行います

開校 50 周年記念講演会(9/13)

開校 50 周年記念講演として、オートバイ元全日本チャンピオン、現役引退後は監督としても全日本チャンピオン経験をお持ちの川島賢三郎氏を講師にお迎えし、生徒向け、保護者向けの2部構成で行われました。



開校50周年記念講演



生徒は真剣に聞いていました



保護者向け講演も実施しました

【ウインドアンサンブル部】 中学生吹奏楽コンクール B 組 金賞

【(硬式)テニス部】 シングルス 関東大会ベスト8 全国大会出場 西村優奈

ダブルス ブロック新人戦 ベスト8 都大会出場 村田結 久保田喜子 組

【 水 泳 】 関東大会 男子100m背泳ぎ 第6位 平野龍之介

(敬称略)